

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ：<http://www.library.city.kawasaki.jp>

図書館をステージに ～市民協働事業が広がっています～

お話し会などでの子どもへの読み聞かせをはじめとして、郷土史会の運営など図書館を中心に活動する市民が増えてきています。また、これまで図書館で行われてきた活動が、学校や地域へと、新たな「市民協働」の形がますます広がっていきます。

日韓草の根図書館交流シンポジウム

平成19年10月28日～11月1日に韓国・富川（ブチョン）市・「小さな図書館運動」等の関係者が川崎を訪れました。

訪問団を迎えるにあたり、実行委員には市民、図書館職員のみならず小学校関係者（校長、学校図書館コーディネーターなど）や大学関係者などが集まり実行委員会が結成されました。滞在中、各施設の見学では、市民や児童生徒との日韓交流が図られました。



交流スケジュール

- | | |
|--------|---|
| 10月28日 | 到着 歓迎会 |
| 10月29日 | 和光大学附属梅根記念図書館
南百合丘小学校 私設ゆりがおか児童図書館 |
| 10月30日 | 岡本太郎美術館 日本民家園
柿生小学校 麻生図書館柿生分館
多摩図書館 |
| 10月31日 | 高津図書館
日韓草の根図書館交流シンポジウム |

シンポジウムは、阿部川崎市長の挨拶にはじまり、富川、川崎双方の図書館活動報告を中心に、韓国の絵本紹介なども行われました。富川市の活発な活動に、会場からの質問も多く、活気ある会となりました。

またシンポジウム開催前に絵本『ふわふわくもパン』（邦訳は小学館より出版）の韓国語による読み聞かせがありました。

富川市は韓国の図書館のトップランナー

川崎市の友好都市、韓国・富川市では、1990年代から「町ごとに図書館を建てよう」という「小さな図書館活動」が高まっていき、民官一体となって独自の図書館政策が作られています。2005年には市民と行政とが共に「本を読む都市宣言」を朗読し、これが韓国の図書館づくりと本を読む都市の活性化に大きな影響を与え、ますます注目が高まっています。



読書のまちかわさき

「読書のまち・かわさき」
図書館講演会のお知らせ

赤坂憲雄講演会

「岡本太郎の見た日本」

民俗学者で東北芸術工科大学大学院長の赤坂憲雄先生をお迎えして、近年改めて再評価が起きている「岡本太郎」の民俗学的側面について、日本の文化や歴史・社会などの視点を交えながらお話しいただきます。

「岡本太郎」独自の日本文化再発見の過程など、赤坂先生による「岡本太郎」の世界をお楽しみください。

- ・2008年3月19日（水）午後6時30分～8時30分（開場 午後6時）
- ・中原市民館 大ホール（JR南武線・東急東横線 武蔵小杉駅下車 徒歩約5分）

《お問合せ》川崎市立中原図書館 TEL：044-722-4932

図書館から市民協働事業が広がっています

10月29日～11月11日の「かわさき読書週間」の期間を中心に、図書館では多数の市民ボランティアの皆様とともに協働事業として様々な催し物を開きました。



工都川崎100年（川崎区）

川崎区誌研究会と川崎図書館との共催で毎年開いている展示会。今年は「工都100年」をテーマに、行われました。浅野総一郎、石井泰助などの足跡紹介や、川崎臨海工業地帯の会社史などを展示、多くの皆様におこしいたしました。

福祉まつり（麻生区）

図書館ボランティアと麻生図書館の協働で「あさお福祉まつり」に参加しました。大活字本、布の絵本（手で触れる絵本）の紹介展示を行いました。「黄金バット」などの懐かしの紙芝居、「恐竜のたまごづくり」（工作コーナー）が人気で、恐竜の絵本の紹介や読み聞かせ、そのほか「あなたの心に残る本」アンケートなども行われました。



ここに挙げたもののほかに、子育てフェスタ、大山街道フェスタなど多くの催し物に、昔話や絵本の読み聞かせなどで図書館ボランティアが参加しています。「市民協働」はまだ始まったばかりです。これから新たな活動が広がっていきます。



図書館からのお知らせ

パスワードのご案内

～メールアドレスのご確認を～

図書館内に設置のOPAC（利用者用検索機）や図書館ホームページで予約や利用状況確認（貸出、予約本確認）の際に必要なのがパスワードです。

～パスワード登録の方法～

・図書館ご来館時に「パスワード申込書」に必要事項を記入し、カウンターで仮パスワード（レシート発券）を受け取ってください。

・OPAC（館内利用者用検索機）

「パスワード変更」

- 「貸出カード番号」に図書館カード番号を入力
- 「現在のパスワード」にカウンターで受け取った英数8桁を入力し「確定」を押す
- 「パスワード」にご自分のパスワード（2ヶ所とも同じもの）を入力し「確定」を押す
これでパスワードが設定されます

・インターネット用

図書館ホームページ「パスワード変更」をクリック

- 「貸出カード番号」に図書館カード番号を入力
- 「現在のパスワード」にカウンターで受け取った数字8桁を入力
- 「パスワード」にご自分のパスワード（2ヶ所とも同じもの）を入力し「確定」をクリック
これでパスワードが設定されます

パスワード登録後は、予約、利用状況確認のほかに「メールアドレスの入力（変更）」が可能になります。「携帯電話にメールをもらう方が便利」「パソコンだと書名確認が見やすく便利」など利用にあわせて、メールアドレスの登録、確認をお願いいたします。

ブックリストのご案内

- ・20歳のブックガイド
- ・かわさき読書100選（中学生版）

「今年成人を迎える人たちに読んでほしい本」を中心に、図書館職員が選んだ「20歳のブックガイド」を作成いたしました。各図書館で配布しています。

小学生向けに作成した「かわさき読書100選」に引き続いて、中学生向けの「かわさき読書100選」が出来上がりました。このリストにある図書は、各図書館で所蔵しリストも図書館にて配布しています。

また、川崎市立図書館児童サービス委員会では『10代に突入したアナタ』におけるブックリストも年2回作成、配布を行っています。こちらもご覧下さい。

第8回 We Love! KAWASAKI

かわさき、町、再発見 ～今、注目のスポットは？～

現在大型マンションの建設がすすみ、新しく川崎市の住民となった方も増えています。「住んでみたい町」の上位に武蔵小杉がランクインするなど注目の「川崎市」ですが、図書館にはこんな資料もあります。

かわさきかるた

「かわさきかるた」は市政80周年を記念して、川崎市文化協会が作成しました。

川崎市の有名スポット、歴史的名所、「宮前メロン」「禅寺丸柿」などの特産品を詠みこんだカルタです。

1月にはこのカルタを使っての「カルタ大会」が麻生図書館でおこなわれました。(これも川崎の図書館との会との協働事業です) 家族連れの参加が多く、はじめは静かに見守っていたお父さんたちの白熱した取り合いとなりました。



川崎ガイド本

「町歩きガイド」には他にこれらの資料なども図書館で所蔵しています。

カルタに詠まれた場所も多く掲載されています。

冬にはカルタ遊び、春には「川崎カルタ」にあった場所めぐり、と楽しんでみるのもいかが？

最新のガイドブックはこちら



『川崎市Walker』
(角川クロスメディア)

そのほかには…

『車ででかける神奈川子どもハイキング』
(横浜アウトドアファミリーズ/著 丸善メイツ)

『子どもとでかける川崎シティあそび場ガイド』
(子育てネット/著 メイツ出版)

図書館で所蔵しています。お近くの図書館でご利用ください。

川崎産業検定

3月に初の「ご当地検定」がおこなわれます。そのテキスト本が発行され、図書館にも所蔵されています。カルタに詠まれたところなどが、出るかもしれません。



『川崎産業観光読本』
(羽田耕治/監修 川崎産業観光振興協議会)

こんな質問がありました～レファレンス事例から～

「昔、川崎駅の近くに住んでいたのですが、その当時の地図はありますか？」

多くお寄せいただく質問です。川崎市立図書館ではこれらの資料を所蔵しています。

・戦前の川崎駅近辺の地図

- 『大日本職業別明細図 川崎市』…………… 東京交通社 昭和10年(1935.9)発行
- 『昭和前期日本商工地図集成』…………… 柏書房 1990発行
- 『川崎 地形図 1/3000』(大正15年12月測量)…………… 内務省復興局 昭和2年発行
- 『川崎西部 地形図 1/3000』(大正15年8月測量)…………… 内務省復興局 昭和元年発行

・読み物

『シャベル～語りつぐ町(かわさき)の歴史』(聞き書きで作成した、川崎区内の戦前の商店街図が掲載されています)

かわさき歴史めぐり (14)

徳川氏の関東入国と川崎市域 - 14 - 法政大学名誉教授 村上直

川崎市域を通る道は、多くは江戸を起点として横断するものですが、江戸時代には、これらの道に交差して東海道・川崎宿と甲州道中・八王子宿を結ぶ八王子道がありました。八王子は、徳川氏の関東入国の直後から、多摩地域（東京都）開発の拠点で、戦国時代には小田原北条氏の有力な支域（滝山・八王子域）が存在し、他の小机・津久井そして江戸と共に南関東の重要な位置を占めておりました。そのため、徳川氏の関東領国の経営にあたっては、江戸を支えるヒンターランドの地域的拠点として、代官頭 大久保長安の小門陣屋があり、周辺には配下の代官の陣屋が設けられていました（俗称・関東十八代官）。また、甲州道中に沿って八王子十五宿が分布し、宿場を形成していました。千人町には八王子千人同心の組頭を中心に屋敷があり、六斎市も立ち、周辺の生産物資の交易交流が行われました。そして近くの薬王院有喜寺は、高尾山信仰と行楽の地として広く知られており、川崎宿と八王子宿を結ぶ八王子道は、江戸からの交通路とは異なった貴重な役割を果たしていました。この川崎市域を縦断し、多摩川に沿って北西の丘陵に向う道は、制度的な継立場の設備があったわけではありません。

しかし、江戸時代に川崎市域の各所にあった道標によりますと、巡礼供養塔・庚申塔・馬頭観音塔などには「八王子道」「八おうじ道」「いなげ八王子道」などと刻まれています。（川崎地名史跡研究会『川崎の道標調査報告書』平成4年3月刊）そして、東海道の川崎宿を越えて羽田渡船場に至る「大師道」にも接続しています。つまり、八王子宿から川崎大師平間寺の参詣の道にまで続いてきたこととなります。

延享3年（1746）1月の菅村（多摩区）の「村銘細帳」によりますと「米穀の儀八江戸并八王寺へ附出売申候、但シ前栽物八江戸市場へ出候程八作り申さず候」と記してあります。これによりますと、菅村の米や穀類は江戸と八王子へ送り出し、売られており、前栽物（大根・菜・茄子・大角豆など）は自給用にしか作っていなかったことが分かります。八王子道は物資の輸送にも利用されましたが、その中心をなしたのは多摩川及びその支流の流域にあった百草松連寺、高幡不動尊そして高尾山薬王院・武州御嶽山（武蔵御嶽神社）などへの参詣の道、または庶民が府中・関戸（多摩市）・日野や八王子に至る生活の道であったといえます。

図書館からのお知らせ

このたび、川崎市立図書館では、市民サービスの向上、学校教育の充実、中学校図書館へのコンピュータシステム導入に向け、現行の図書館システムを承継せず、次期図書館システムとして、市立図書館機能と学校図書館機能を統合した、「川崎市図書館総合システム」を新たに導入することといたしました。

- (1) 常に信頼される図書館システム
- (2) 誰にでも使いやすい図書館システム
- (3) 常に最新のサービスツールを提供できる図書館システム

を基本コンセプトとし、次期図書館システムは、より使いやすいものにするをめざします。

今年7月の稼働に向け、今後、随時図書館ホームページ、館内ポスターなどでお知らせしていきます。

編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011) 高津図書館(822-2413) 麻生図書館(951-1305) 大師分館(266-3550) 橋分館(788-1531)
幸図書館(541-3915) 宮前図書館(888-3918) 田島分館(333-9120) 柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932) 多摩図書館(935-3400) 日吉分館(587-1491) 菅間覧所(946-3271)